

教科	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取組）	成果(○)と課題(△)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで読書をする児童が多く、物語文を楽しみながら学習に臨んでいる。 ・叙述を基に、心情を考えたり、表現したりすることに課題が見られる児童がいる。 ・相手意識をもって話したり、聞いたりすることに課題がある。 ・自分の考えや要点をまとめて分かりやすく文章に表すことに課題がある。 ・漢字や文法についての理解や習得に個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面や段落読みを行い、大事な語句や文章に着目させ、物語の登場人物の心情を自分なりに表現できるようにする。 ・1時間の授業の中で、ペア学習を多く設け、自分の考えを話したり、友達の考えを聴いたりすることの楽しさを味わわせる。 ・SSTの時間の話し方や聴き方指導を通して、相手意識をもって活動させる。 ・書いた文章を友達と読み合ったり、推敲したりする活動を繰り返し行うことで、書く力や表現力を高める。 ・朝学習を通して、漢字や文法について理解の定着を図る。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方や考え方を働かせながら、身の回りにある社会的事象と結び付け考え、解決する力や判断する力を伸ばす。 ・資料から必要な情報を集めたり、選んだりしながら情報を整理してまとめる力を高めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの事象から児童が学習課題を見出し、見通しをもって追究させることで、見方・考え方を働かせながら学習に取り組めるように教材提示の工夫をする。 ・調べた情報を、課題に対して関連付けたり、比較したりする活動を取り入れ、正しい情報や必要な情報を整理させる。また資料を提示する際に、見方や読み方を指導する。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算が身に付いていて、計算問題には意欲的に取り組んでいる。 ・理解度に個人差が大きく、基礎基本の定着を図る必要がある。特に、比例の関係や数のしくみについて理解が不十分である。 ・自分の考えをわかりやすくまとめたり、表現したりすることが難しい児童がいる。 ・計算を単なる知識と考えており、丁寧に問題を解いたり、深く考えたりすることが難しい児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の習熟度を見取り、必要に応じて焦点化したり高難易度の問題に挑戦させたりする。また、課題となる単元の復習を定期的に行う。 ・自分の考えをペアで説明する時間などを多く設定する。あらかじめノートを交換して説明する活動があることを伝え、ポイントをまとめることを意識させる。 ・学習した内容を生活の中で使っていくことができるよう、場面設定などを工夫する。身近な事象と関連付け、深く考えることの必要性に気付かせる。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察に意欲的に臨んでいる。 ・実践や観察の結果から、身近な出来事と結び付けて考察し、結論を導き出す力を高めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な事象や経験したことと結び付けながら考えるように指導する。また具体物を用いたり、実験を多く取り入れたりすることで、体 	

	<ul style="list-style-type: none"> 根拠をもって予想や考察を説明したり、表現したりすることが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 験的な活動を増やし、実生活との結び付きに気付かせるよう指導を工夫する。 予想を立てる際に、常に根拠とセットで考えるように指導する。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 明るくはっきりした歌声から、やわらかくのびやかな歌声へと成長している様子が見受けられる。歌詞から様子を想像したり強弱の表現を工夫したりして歌う学習に前向きに取り組むことができる児童が多い。 旋律と伴奏を合わせて演奏したり、和音の響きを感じ取ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心して歌うことができる雰囲気大切に続け、曲のイメージを膨らませて思いをもって表現することで、より豊かな表現へと指導を繋げていく。 旋律と伴奏を合わせた心地よさを感じられているため、今後はより多くの音の重なりを聴いたり感じ取ったりできる学習の充実を図る。 	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に活動している児童が多い。また、友達の作品のよいところを見つけることができる。 画材や道具などの扱いが雑になってしまうことがある。 自分の感覚や想像力を通して考え、表現することが少ない。 人物などの描画に苦手意識をもっている児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 画材や道具などの知識を活用する場面を多く設定することで知識・技能が身に付きやすくする。 すぐにタブレットで参考画像を検索するのではなく、過去の経験や思い出を基にして表現するように指導する。 形を描写する際に写実性を意識するのではなく、特徴を掴み相手に伝わる絵を描くように指導する。 	
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 目標（作品の完成イメージ）をもって取り組むことができ、楽しんで活動している。 裁縫では取り組む意欲に差が見られた。 裁縫道具や調理道具を扱う際に、周りが見えていない児童がいる。 伊藤園とのお茶セミナーでは、お茶の歴史、生産、淹れ方など幅広く関心をもって活動していた。一方で本来の目的から逸れた質問や行動をしてしまう児童もいた。 体験を振り返り、家庭でもお茶を淹れる活動では家での活動の実施が難しい児童もいた。 	<ul style="list-style-type: none"> 裁縫の学習を班でのグループ活動とすることで、児童同士で助け合い、基本的な縫い方を習得しやすくする。 裁縫や調理実習では安全に十分に気を付けさせ、特に自分の周囲の児童の動きもよく確認するよう指導する。 ゲストを招いてセミナーを行う際には、事前にマナーについて触れ、準備片付けにおいて自分たちができることも考えさせておく。 生活と結び付けて学習できるように、家庭と連携しながら学習を行う。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ゲーム型の運動では、チームの友達とアドバイスしたり、励ましあったりしながら楽しんで活動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体の動かし方を、細かく分けて（スモールステップ）伝えることで、動かし方をイメージしやすくする。 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・体幹の力の弱さなどから、手本を示されても、真似が難しい児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの動きのよさや課題を伝え合ったり、動きのこつを教え合ったりできる環境を多く設ける。 	
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・歌やチャンツの活動は、声を出し、身体を動かして表現しながら活動を楽しんでいる児童が多い。 ・スピーチ活動では、自分のことを表現する手段として、ジェスチャーを用いながら相手に伝える児童が多いが、人前での発表に少し自信のない児童もいる。 ・概ねアルファベットを読むことはできるが、書くことは課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中で英語に親しむことができるように、歌やゲームなどの活動を取り入れていく。 ・自信をもって発表できるように、友達や ALT との関わりの中で練習時間を取り、児童の様子をしっかりと見て、声掛けをしながら良い点を褒め、自信をつけさせたい。 ・読む活動だけでなく、アルファベットを書く活動を授業の中でも少しずつ取り入れ、カードなど、書く必然性をもたせながら、定着を図る。 	
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを、他者に発信することができる。 ・相手の考えを受け止め、自分自身の生き方を深めたり広げたりすることに課題がある。 ・課題について自分事として捉えて、生活を振り返りながら考えたり、生かそうとしたりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の中で、意図的なペアやグループ活動の時間を設ける。また、友達のよい意見や考えを発表させる活動を取り入れる。 ・毎時間、自分自身を見つめる時間を十分に確保することで、学習内容から課題を自分事として捉えられるようにする。 	
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で課題を見出し、興味をもって主体的に取り組んでいる児童が多い。 ・インターネットの情報だけで情報収集をしがちになっているため、インタビューや現地調査など多様な方法を身に付ける必要がある。 ・情報収集する力は身に付いてきたが、課題について、その情報を聞き手に合わせて、分かりやすく表現する力を高めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けて、図書資料を活用したり、他教科で学習したことと結び付けて考えたりするように指導する。 ・学習したことを、友達同士で見合う経験を積み重ねる。発表後には必ず振り返りを行い、改善を図り、表現力を高める。 	